

よしまい

2025年 秋号



目 次

公園の風景

- ・今年の一番乗り 1
- ・短足コゲラちゃん 1
- ・日本の秋といえば 1
- ・エネルギー自然観察会 . . . 1
- ぐるっと山口湾④ 2

みんなのひろば

- 葉っぱの小旅行in山口 . . . 2

活動紹介

- ・ふれあいまつりに向けて
がんばってるよ～!! . . . 3
- ・子供たちに特別な1日を . . . 3
- ・「夏・子」無事終わる . . . 3

公園の汽水池で休むアオアシシギの群れ

発 行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail ashinokai.kiirara@gmail.com

HP <https://ashinokai.cloudfree.jp>

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

会員募集中！（高校生以上）



公園の風景

= 今年が一番乗り =

まだ秋とは呼べない暑さの中でも立秋を過ぎたあたりから、アオアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、キアシシギなど様々なシギの仲間が次々に公園に集まり始めました。一番乗りは、早くも7月に淡水池にやって来ていた、写真のアオアシシギ（公園ホームページより）です。



足長さんです

アオアシシギは主に旅鳥で、春と秋の渡りの時期に日本にやって来てこの公園にも立ち寄ります。ピュー、ピューと、誰かが口笛を吹いているような声で鳴きながら飛びます。キアシシギの足がその名の通り黄色いのと違い、アオアシシギの足は青くはなく灰色がかかった青緑色。クチバシの先が少し上にそっているのも特徴です。いよいよ野鳥観察シーズン到来！シギを観察する時はクチバシの形にも注目してみてください。

= 短足コゲラちゃん =



ギューギューという鳥の鳴き声を聴いたことありませんか？その声の主はキツツキの中では一番小さい「コゲラ」。全長は15cmくらいで、スズメと同じくらいの大きさです。背中が灰褐色と白のシマシマまだら模様で、木と同化して見つけにくいかもしれません。先日、公園でせっかく見つけたのに、ササッと木の上の方へ登って行き隠れてしまいました。木の幹を上手に登れるのは短い足としっかりしがみつける鋭い爪を持っているからです。鳴き声以外の手がかりは、虫を探すため木をくちばしでコンコンコンと突くドラミング。音と声でコゲラを探してみても？見つけるとうれしくなる、とっても可愛い小鳥さんですよ。

= 日本の秋といえば =



名月に似合うススキですが、イネ科の植物で尾花（オバナ）や振袖草（フリソデグサ）ともいい、秋の七草のひとつでもあります。初秋になると茎の先端に赤っぽい花穂を付けますが、種子に生える白い毛が穂全体を白っぽく見せます。公園のヨシ原を囲む土手にはヨシに同化するようにススキが生えていますが、誰もがその存在に気付くのはこの頃です。中秋の名月頃に出た花穂は晩秋の頃には熟し、種子は風によって飛んでいきます。葉は黄色や赤色の草紅葉になります。かつては、かやぶき屋根の材料や家畜の餌となり、人の生活には欠かせなかったススキ。今では日本の秋を語るにふさわしい植物であり、これからも日本人の美意識をくすぐる存在であり続けて欲しいものです。

= エネルギア自然観察会 =

8月3日(日)、今年で5回目となる中国電力さんによる自然観察会が当公園で行われました。長靴に入っ



た水の音と感触を楽しみながら干潟の生き物に触れたり、罾を引いては魚やカニにドキドキしたり。それらを同定して自然に戻した後、中電さん提供のお弁当でお昼。午後からは恒例の工作でソーラーカーを仕上げピロティーに設えたプラレールで試走。子供達には最高の夏休みになったのではないのでしょうか。葦の会スタッフも揃いのTシャツで参加しました。

ぐるっと山口湾④

山口湾を

ラムサール登録へ



ラムサール条約の言う「湿地」とは水のある場所全て、すなわち海の干潟も入ります。山口湾は干潮時、350ha もの広大な干潟が広がり、豊かな生態系を保っています。野鳥がシベリアなどから日本列島を縦断し東南アジアへ渡るルートと、中国、朝鮮を経て日本へ渡るルートの交差点であり、2億年前から姿が変わらないと言われる絶滅危惧種のカブトガニの国内有数の繁殖地でもあります。



秋穂・長浜から見る山口湾の干潟



クロツラヘラサギも少しずつ渡ってきています



みんなのひろば😊

葉っぱの小旅行 in 山口

代表作 葉っぱのアクアリウム



先日、小6の孫と一緒にときわ公園ときわミュージアムで開かれた「リト@葉っぱの切り絵展～葉っぱの小旅行 in 山口」に行ってきました。リトさんが独学で制作を始め、SNS に毎日アップしている葉っぱの切り絵は国内外で注目を集めています。

まず葉っぱに水性マーカーで下絵を描き、デザインカッターで切っていきます。何しろ小さいので葉っぱの方を動かしながらの細かい作業が大変でした。

できあがった切り絵は青空をバックにして写真を撮ります。1枚の小さな葉っぱでひとつの世界がで上がります。



リトさんの切り絵は細かい切り込みや全体の形がまるで絵本の中に入ったような感じがして、温かい気持ちになります。仕事の丁寧さと自然への思いが感じられ、とてもいいなと思いました。（いちご）

マゴとばーちゃんの作品はこちら！



皆さまのご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。

活動紹介

= ふれあいまつりに向けてがんばってるよ～!! =



ショートプログラムチームでは、秋のふれあい祭りに向けて新作の紙芝居、「チョウトンボのダンス大会」を制作中です。〇さんがーから物語を作り下絵も担当。他のメンバーはクレヨンや絵の具で色付けをしていきます。何十年ぶりかで童心に返り、楽しく作業しています。チョウトンボと赤ガエルの茜さんの楽しいお話です。皆さん是非見に来て下さいね ♪ 今年のふれあいまつりは 10月26日（日）です！



= 子ども達に特別な一日を =

野鳥やまぐちが積水ハウスのマッチングプログラムに応募して企画が採用された「夏休み、学童保育に通う子供達に特別な一日を」の2年目。当自然観察公園と積水ハウスの山口工場を活動の場として、7～8月にかけて全8回、総参加者320名の子ども達と付き添いの先生を招いて行われました。公園からバスで行く積水ハウスの展示場では地震体験もあり、子供たちは大はしゃぎしながらも有意義な体験をしました。園内での魚釣りは大好評！しかしながら、大半の生徒さんは釣り針に餌を付けるのは苦手らしく、葦の会の会員はその作業の請負人として人気者でした。お昼ご飯にカレーを作るなど、昨年に引き続き企業による素晴らしい取り組みのお手伝いが出来たことは、葦の会にとっても嬉しいことでした。

=「夏・子」無事終わる =

夏休みが始まったばかりの7月21日（海の日）、7時より「夏休み子ども早朝観察会」が開催されました。付き添い者も入れて45名の参加者は朝から気温がぐんぐん上がる中、汗だくでトンボやバッタを追いかけて、溶けそうになったアイスで涼をとっていました。

<俳句教室 最多選句>

・銀屋根なれど匂会へ戻る炎暑かな	・雨止んで霧立ち昇る故山かな	・帰省せり吐き出す駅の昇降機	・群衆を分けて残暑のストレッチャー
勝	信子	貞代	恵子

7月

8月



<編集後記>

9月に入ったというのに暑くてウンザリですね!! この暑さですが、良い事が。私は蚊に一度も刺されていません。ラッキー ♪ 蚊も暑すぎると夏バテするんですってね! 27℃前後で活発になるらしいので、これから刺されてしまうかな? 刺されないように気を付けよ〜と。

(らんらん)